

資生堂、FABERNOVEL 社と提携し 社内向けデジタルスキル向上トレーニングを推進 —ビューティー業界のデジタル先進企業を目指す—

資生堂は、デジタルコンサルティング会社 FABERNOVEL(ファバーノベル)社*と提携し、全社的なデジタルスキルの向上を目的としたトレーニングプログラム「SHISEIDO+デジタルアカデミー」をスタートします。このプログラムは、世界の全資生堂グループ社員を対象とし、消費者に関する情報の分析・開発に重点を置いたデジタル技術の向上と活用を推進するものであり、これにより資生堂は商品開発から顧客サービスにいたるまで、デジタル技術を活用した機能強化を図り、ビューティー業界のデジタル先進企業になることを目指します。

SHISEIDO+デジタルアカデミー

第一期では、世界各地のマーケティング、営業、コミュニケーション、そしてデジタルの分野から選定された 600 名の社員を対象とし、アジア、ヨーロッパ及び米国の各地域で実施するライブセッションに加え、個別に受講できるオンライントレーニングも行います。

ライブセッションでは、資生堂が戦略的に注力すべき領域についてデジタル視点からのインサイトを受講者に提供するとともに、世界各国から集まった受講者間での成功事例の共有や連携の強化を図ります。

オンライントレーニングでは、受講者は資生堂のために作られた e ラーニングシステムや最新のデジタル技術情報へのアクセスが可能となります。

資生堂は中長期戦略 VISION 2020 への取り組みの中で、成長の見込める領域としてEコマースに注力し、中国ではアリババグループとの連携もスタートしています。全社的なデジタルスキルの向上により、このような成長領域での事業拡大を加速させていきます。

デジタル・センター・オブ・エクセレンス

「SHISEIDO+デジタルアカデミー」は、「デジタル・センター・オブ・エクセレンス (デジタル COE)」が推進します。資生堂グループのグローバル・チーフ・デジタル・オフィサーである Alessio Rossi(アレシオ・ロッシ)が率いるデジタル COE は、消費者データを重視するアプローチにより、資生堂グループの各事業のデジタル対応力とブランドプレゼンスを高めると同時に、グループ内でデジタルスキルの高い人材と組織を育成していきます。

資生堂は、スキンケアは日本、メーキャップやデジタルは米州、フレグランスは欧州というように、各カテゴリーにおいてグローバルな影響力を持つ最先端のエリアで情報収集・戦略立案・商品開発などをリードし、それらを全世界のマーケティングに展開し、活かしていく「センター・オブ・エクセレンス」構想を推進しています。デジタル COE はその一角を担い、デジタルに関わる領域で、情報収集・戦略立案を統括していきます。

* FABERNOVEL 社について

2003 年にフランスに設立されたグローバルイノベーションエージェンシー。顧客企業にデジタルに関わるトレーニング、アプリ開発、ウェブサイト開発などのサービスを提供する。